

・ 公営企業会計で運営される施設での保健活動の展開

A. 県内の母子保健活動の中核拠点としての活動

・ 保健センター活動に基づいた行政施策への反映

愛知県健康福祉部子育て支援課より依頼を受け、平成 19 年度から愛知県が独自に作成した「父子手帳」に、“育児の悩みに理解を！”と題して時間外電話相談に寄せられた相談内と子どもの事故予防教室への参加呼びかけを掲載し、本年度記事を更新した。

県健康福祉部児童家庭課とともに、母子健康診査マニュアルで集積されるデータについて分析するとともに、母子健康診査マニュアル専門委員会の事務局ならびにワーキンググループとして、県が集積すべき項目の改訂を検討し、原案を作成した。

その結果、報告項目(医科)を「疾病の発見」(医師の判定結果); 発育・発達に関する評価、顔面、頸部、胸部、腹部、泌尿・生殖器、四肢、皮膚の所見の有無、総合判定、および「保健指導・支援」(カンファレンスによる判定結果); 子育て支援の必要性・子の要因(発達)、支援の必要性・子の要因(その他)、支援の必要性・親や家庭の要因、支援の必要性・親子関係、授乳・生活習慣・食習慣ならびに問診項目(健やか親子 21 の報告項目等)など、大幅に改訂した原案を策定し、専門委員会に報告した。県児童家庭課では、平成 23 年度の実施を目指して、調整を進めている。

平成 17 年度より当センターが主催する保育リーダー研修は、健康福祉部児童家庭課から、市町村の関連部署に参加者を募集し、センターと行政が一体となった研修企画となっている。平成 20 年度は、名古屋市も含め行政機関との協力関係が発展・継続した。

B. センター医療部門との密接な連携による保健医療活動(困難事例への対応)

・ 受診患者・家族からの保健医療相談

診療科名	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
総合診療科	9	0.4%	32	1.3%	11	0.4%	33	1.1%
アレルギー科	83	3.4%	133	5.5%	145	4.7%	115	4.0%
腎臓科	195	8.0%	78	3.2%	173	5.6%	151	5.2%
神経科	220	9.0%	194	8.0%	200	6.5%	126	4.3%
感染・免疫科	51	2.1%	15	0.6%	54	1.8%	22	0.8%
内分泌科	167	6.9%	229	9.4%	294	9.6%	93	3.2%
心療科	1,123	46.1%	1,205	49.5%	1,477	48.1%	1,517	52.1%
循環器科	100	4.1%	203	8.3%	303	9.9%	497	17.1%
心臓血管外科	63	2.6%	42	1.7%	135	4.4%	6	0.2%
小児外科	203	8.3%	100	4.1%	3	0.1%	95	3.3%
整形外科	45	1.8%	96	3.9%	183	6.0%	15	0.5%
泌尿器科	71	2.9%	43	1.8%	41	1.3%	165	5.7%
形成外科	11	0.5%	9	0.4%	6	0.2%	12	0.4%
耳鼻咽喉科	81	3.3%	35	1.4%	29	0.9%	39	1.3%
眼科	13	0.5%	11	0.5%	8	0.3%	19	0.7%
皮膚科							1	0.0%
歯科・口腔外科			1	0.0%	5	0.2%		
麻酔科			8	0.3%	2	0.1%	3	0.1%
診療科相談計	2,435	100.0%	2,434	100.0%	3,069	100.0%	2,909	100.0%
保健医療相談総数	4,373		4,090		4,371		4,256	
診療科相談の割合	55.7%		59.5%		70.2%		68.4%	

平成 20 年度の保健医療相談 4,256 件のうち、センターの診療科への受診・入院・紹介のための相談、ならびに受診中の患者からの退院や在宅療養に関する相談など（診療科相談）は、68.4%を占めた。

診療科別には、例年通り心療科受診患者が圧倒的多数を占めるが、経年的には心療科以外の患者からの相談も増加傾向にある。これは、診療科相談の多数を占める虐待に関する相談が、心療科以外の科からも増加傾向にあること、退院後の在宅療養に関する相談が増加したことなどを反映している。

（注：診療科相談の分析は、予防接種外来への受診相談件数を除外して集計した。）

・ 虐待ネットワーク委員会でのケースの進行管理

平成 17 年 1 月から、心療科での治療継続のための地域関係機関との連携、心療科以外の科からの連絡の充実を目指して、センターの各部署の実務担当者による月例のケース報告会議（拡大ネットワーク委員会）を設置した。拡大ネットワーク委員会では a.子育て支援外来初診患者、b.心療科受診患者のうちの虐待事例、c.32 病棟新規入院患者のうち虐待事例、d.他科受診患者のうち虐待が疑われた事例、e.その他ネットワーク事務局に報告があった事例を全例報告し、その月内に把握された虐待事例の進行状況の情報も共有している。また、年 1 回ケースの振りかえり作業を通じて進行管理を図っている。

拡大ネットワーク委員会での報告件数（平成 20 年）

	1月	3月	4月	5月	6月
実件数	20	17	17	9	10
延件数	29	21	24	15	11

	8月	9月	10月	12月	計
実件数	18	12	5	12	120
延件数	29	16	12	19	176

（2月、7月、11月は拡大ネットワーク委員会未開催）

報告時の年齢

					件数 (%)
0歳	1～5歳	6～10歳	11歳～15歳	16歳以上	計
4 (3.3)	15 (12.5)	52 (43.3)	32 (26.7)	17 (14.2)	120(100)

虐待の種別（複数回答）

					件数 (%)
身体的	初々	心理的	性的	DV	MSP
70 (58.3)	49 (40.8)	25 (20.8)	20 (16.7)	12 (10.0)	1 (0.8)

地域別人数（１）

地区	件数(%)	入院あり ¹	施設・里親中 ²
知多児相管内	40 (33.3)	13 (32.5)	2 (5.0)
（再掲）常滑市	9 (7.5)	5 (55.6)	2 (22.2)
大府市	9 (7.5)	1 (11.1)	
半田市	8 (6.7)	2 (25.0)	
知多市	4 (3.3)	1 (25.0)	
東海市	4 (3.3)	2 (50.0)	
東浦町	4 (3.3)	1 (25.0)	
武豊町	1 (0.8)	1 (100)	
阿久比町	1 (0.8)		
名古屋児相管内	12 (10.0)	5 (41.7)	
東三河児相管内	12 (10.0)	3 (25.0)	2 (16.7)
春日井児相管内	10 (8.3)	5 (50.0)	

1 入院あり/件数（％）

2 施設入院中/件数（％）

地域別人数（２）

地区	件数(%)	入院あり ¹	施設入所中 ²
豊田児相管内	10 (8.3)	3 (30.0)	2 (20.0)
中央児相管内	9 (7.5)	4 (44.4)	1 (11.1)
刈谷児相管内	9 (7.5)	1 (11.1)	
一宮児相管内	7 (5.8)		1 (14.3)
西三河児相管内	5 (4.2)		
海部児相管内	1 (0.8)		
新城児相管内	0		
岐阜県	3 (2.5)		
静岡県	1 (0.8)	1 (100)	
大阪府	1 (0.8)		
計	120 (100)	35 (29.2)	8 (6.7)

1 入院あり/件数（％）

2 施設入院中/件数（％）

平成20年に新規に拡大ネットに報告された120例の平成20年12月末現在の状況は、センターへの継続受診が83例（69.1％）、終了・転院が24例（20.0％）、治療中断だが地域での支援が継続している事例10例（8.3％）であった。なお、治療中断・不明者を3例（2.6％）に

認めた。

平成 17 年の新規報告事例 186 例のうち 2 例 (1.1%)、平成 18 年の新規報告事例 144 例のうち 1 例 (0.7%)、平成 19 年の新規報告事例 127 例のうち 1 例 (0.8%) が、平成 20 年中にあらたに不明となった。

平成 20 年 12 月末現在の状況

		児童相談所等との関わり状況			件数(%)
		受診時既に 関わりあり	センターから・通告	関わりなし	計
心療科通院中		40 (63.5)	4 (44.4)	32 (66.7)	76 (63.3)
他科通院中		4 (6.3)	2 (22.2)	1 (2.0)	7 (5.8)
転院・終了		12 (19.1)	1 (11.2)	11 (22.9)	24 (20.0)
中 断	他機関フォロー	6 (9.5)	2 (22.2)	2 (4.2)	10 (8.3)
	不明	1 (1.6)	0	2 (4.2)	3 (2.6)
計		63 (100)	9 (100)	48 (100)	120 (100)